

# アウクスブルク滞在記

山本 七海

## 1. はじめに

今回は9/8-9/15の約1週間、尼崎市青年使節団として姉妹都市であるドイツのアウクスブルク市を訪問し、ホームステイさせていただきました。私にとっては初めての姉妹都市交流、ホームステイということで行く前は不安な気持ちでいっぱいでした。ドイツ語、また英語にも自信がなかったのにホームステイ、そして海外で1週間も過ごすことが出来るのかと思っていましたが、そんな思いが吹き飛んでしまうほど素晴らしい経験をさせていただき、今回の訪問は私にとって忘れられない思い出になりました。

今回の滞在記では、ドイツ・アウクスブルク市を訪れ、過ごした中で印象的だったことを記したいと思います。

## 2. 街並み

私が今回アウクスブルク市を訪れる前に楽しみにしていたことの1つは、ヨーロッパの街並みを見ることでした。ドイツのアウクスブルク市は歴史的な街並みが残っており、街を歩いているだけでワクワクした気持ちになりました。特に、2日目に初めてアウクスブルクの市庁舎を見たとき、その大きさにびっくりしました。また、アウクスブルクの街並みは、尼崎市にある「つかしん」というショッピングセンターの外観のモデルとなったもので、幼いころから訪れ

ていたショッピングセンターの本物を見ることができて本当に嬉しかったです。



アウクスブルクの街並み

## 3. 交通

ドイツに来て最初に驚いたのはアウトバーンです。アウトバーンは日本でいう高速道路ですが、なんと速度制限がありません。そのため、私たちはバスで移動していたのですが、時速180kmほどで走る車も見かけ、とても驚きました。

また、街の中を走っているトラムも印象的でした。日本でいう路面電車のようなもので、アウクスブルク市では多くの人々が利用しています。大学に行く際や街を移動するときに乗ることが多いそうで、私も滞在中に2回ほど利用する機会がありました。

## 4. 食事

ドイツといえばソーセージという印象を持つ方も多いのではないのでしょうか。私も訪問前はそう思い、ソーセージを食べるのを楽しみにしていました。しかし、プログラム中の食事やホームステイ先の食事では、ソーセージがあまり登場しませんでした。

した。不思議に思いホストファミリーに尋ねてみると、アウクスブルク市が位置する南ドイツでは、日常的にソーセージを食べることはあまりないと教えてもらいました。

ただ、私が「本場のソーセージを食べてみたい」とお願いしたところ、ホストファミリーが夕食として用意してくれました。そのおかげで、ドイツならではの味わいを楽しむことができ、とても嬉しかったです。

また、ドイツで出会ったプレッツェルも印象的でした。本場で食べたプレッツェルはこれまでのイメージを覆すほど美味しく、何度でも食べたいと思うほど気に入りました。



ホームステイ先での夕食

## 5. ホームステイ

今回の訪問で最も心に残っているのはホームステイです。最初は不安でいっぱいだったホームステイですが、最後には本当に離れたくなくて泣いてしまうほどの素晴らしい思い出となりました。ホストファミリーはとても優しく親切で、私の拙い英語にも熱心に耳を傾けてくださり、ドイツやアウクスブルクについてたくさんを教

えてくれました。

特に印象的だったのは、ホストマザーがアウクスブルク側の使節団として過去に尼崎市や長浜市を訪れた経験があったことです。そのときのアルバムを見せていただき、私の地元が遠いドイツでも深く繋がっていることを実感し、感動しました。

また、ホストファミリーには3人の子供たちがいて、滞在中は一緒にお喋りをしたりゲームをしたりして、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

そして、ホストファミリーとの特別な1日では、ミュンヘンに連れて行ってもらい、オリンピックパークや教会、市街地を観光しました。教会では特に美しいステンドグラスが印象的で、雨の日でしたが家族と一緒に充実した1日を楽しむことができました。

## 6. 最後に

今回、尼崎市青少年使節団としてアウクスブルク市を訪れることができ、本当に良かったです。私の人生にとって、忘れられない貴重な思い出となりました。この訪問を通じて、多くの人々と交流し、私自身の視野も大きく広がったと感じています。旅行では味わえないような体験もたくさんさせていただき、心から行って良かったと思います。このような姉妹都市交流がこれからも続くよう、何らかの形で貢献していきたいです。そして、またホストファミリーに会いにドイツを訪れたいと思います。

今回の訪問に関わりサポートしてくださった方々には心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。